

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） 埋立/棧橋接続部護岸の施工状況 ～鋼管矢板井筒護岸のドライアップが完了～

トピックス

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事のうち、埋立・棧橋ハイブリッド構造の根幹となる埋立/棧橋接続部（以下「接続部」と呼ぶ）においては、**1月24日に鋼管矢板井筒護岸内部のドライアップ^{※1}が完了しました。**

接続部は、全長（約430m）に渡って滑走路直角方向に打設される2列の鋼管矢板φ1,600（外壁部）、それと直角に滑走路平行方向に打設される鋼管矢板φ1,600（隔壁部）、及び鋼管矢板頂部に構築される頂版コンクリートで一体化した「鋼管矢板井筒護岸」を基本構造とし、その上部に航空機荷重を支え、かつ消波機能を有するスリット柱φ1,200とPC桁を用いた「上部構造」、さらに棧橋部との間を「渡り桁」及び「伸縮装置」で接続する構造であり、埋立部と棧橋部ジャケットという異なる構造を一体的に結びつける重要な構造物となります。

ドライアップは、全長約430mを仕切部鋼管矢板により4区画に分けて、順次海水を排水し、1月24日にすべての区画の排水が完了しました。 今後は、仕切部鋼管矢板のA.P.-5.9m以上を切断し、頂版コンクリート（厚さ3.0m）の鉄筋組立・コンクリート打設等の施工を本格化させます。頂版コンクリート完了後は、スリット柱、PC桁などの上部構造の構築を開始します。

なお、接続部の施工範囲は、C滑走路を離発着する航空機の飛行経路の直下に位置するために厳しい高さ制限（制限表面）が設けられており、クレーン作業等の高さ制限を越える施工（制限表面に抵触する作業）は、全て、C滑走路の使用が制限される「夜間」となります。

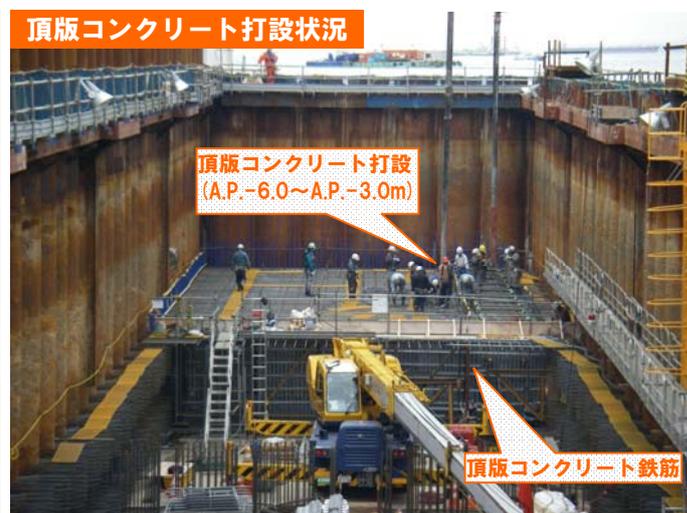
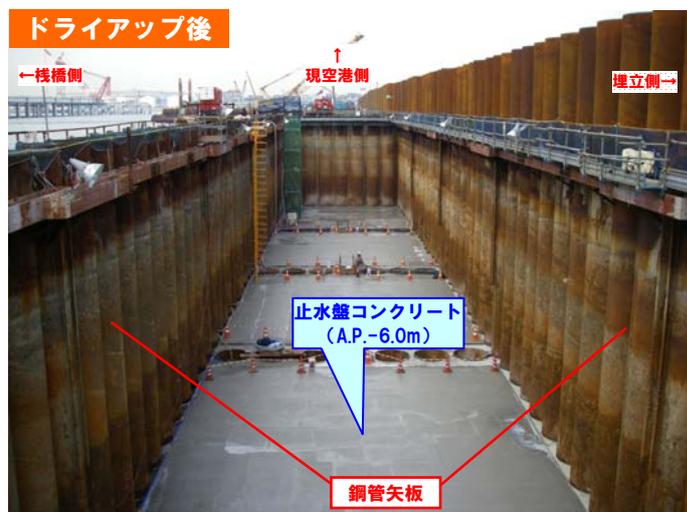
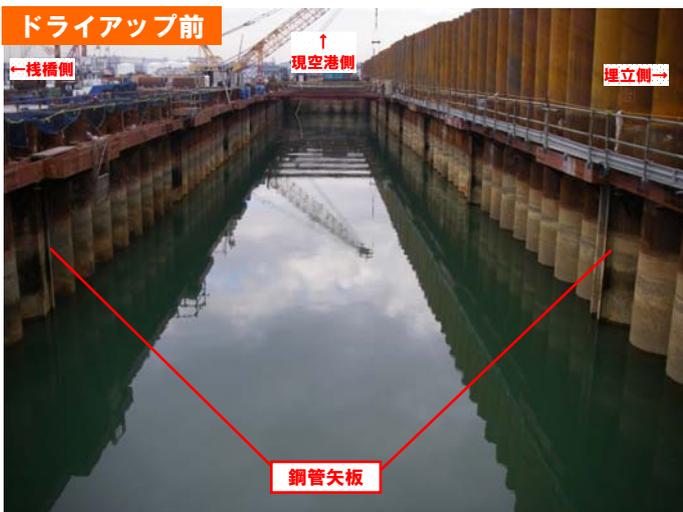
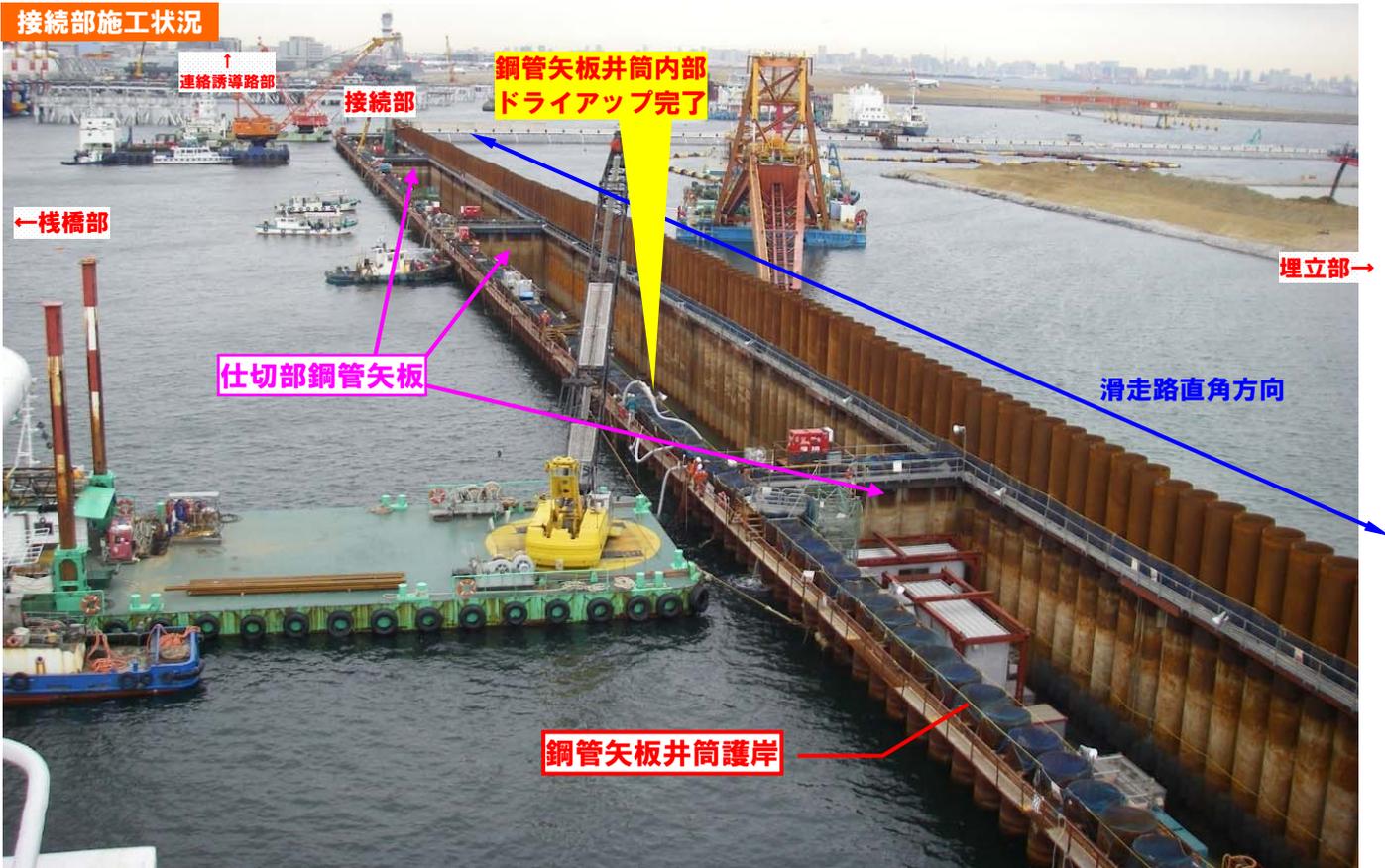
※1 ドライアップ…鋼管矢板井筒護岸の上部構築のために、鋼管矢板で囲まれた井筒内部の海水を排水し気中と同じ状態にすること。

平成21年1月29日
国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

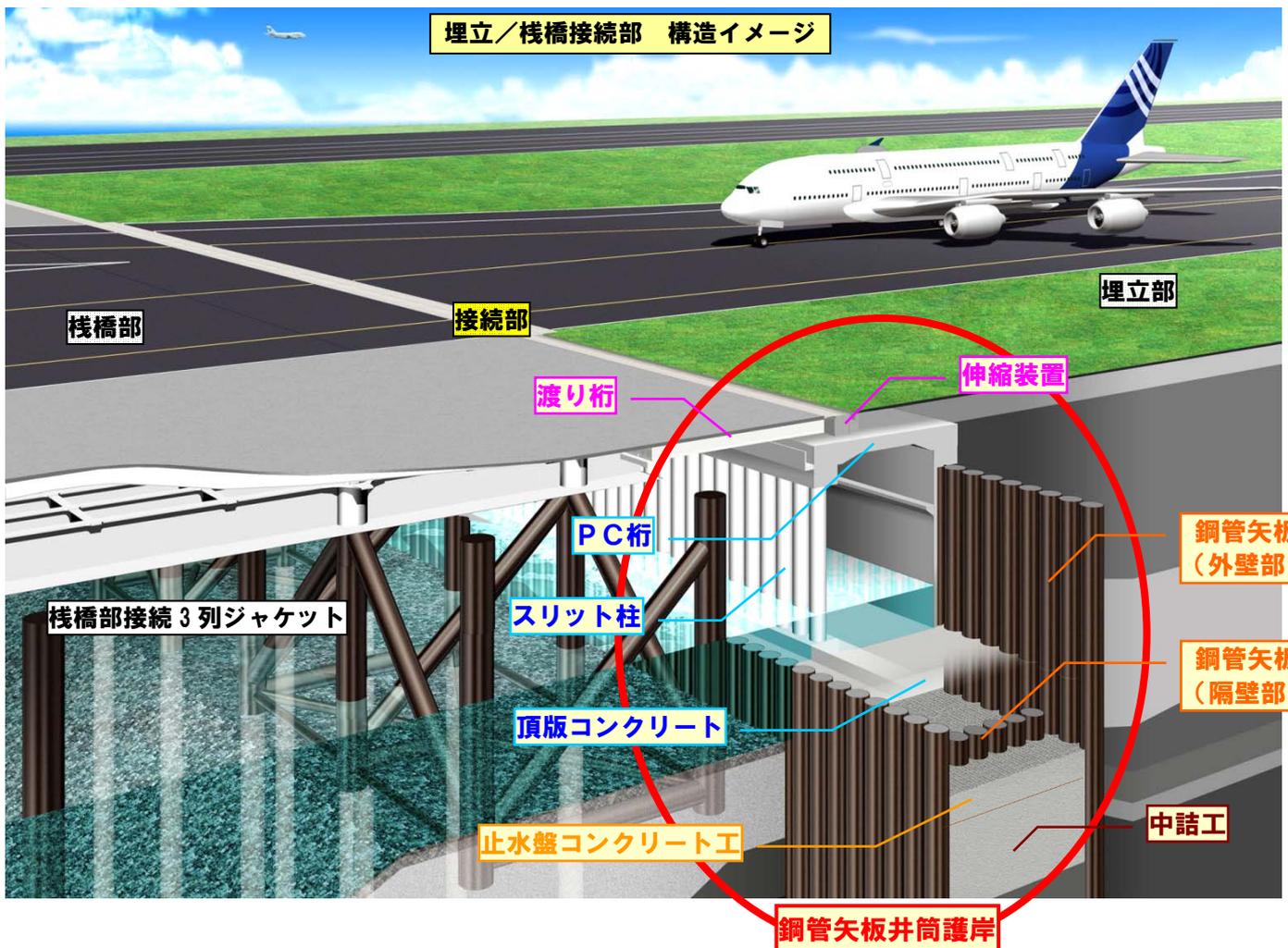
問い合わせ先

国土交通省	関東地方整備局	東京空港整備事務所	D滑走路プロジェクト推進室	北川・篠原・船橋
住所	東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階			
電話	03-5756-6580			
HP	http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/			

■埋立/棧橋接続部 鋼管矢板井筒護岸 施工状況

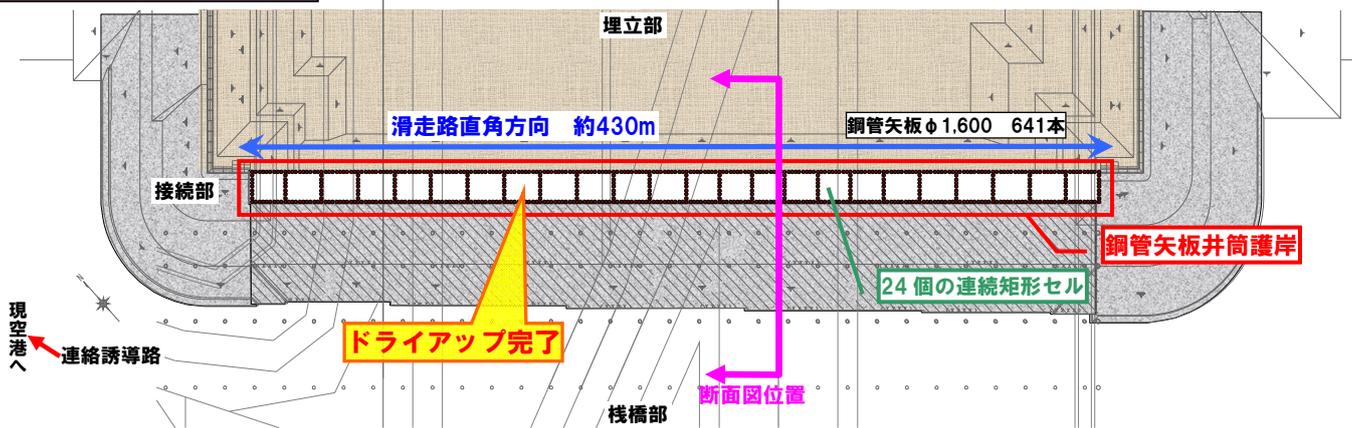


■埋立／棧橋接続部 概要

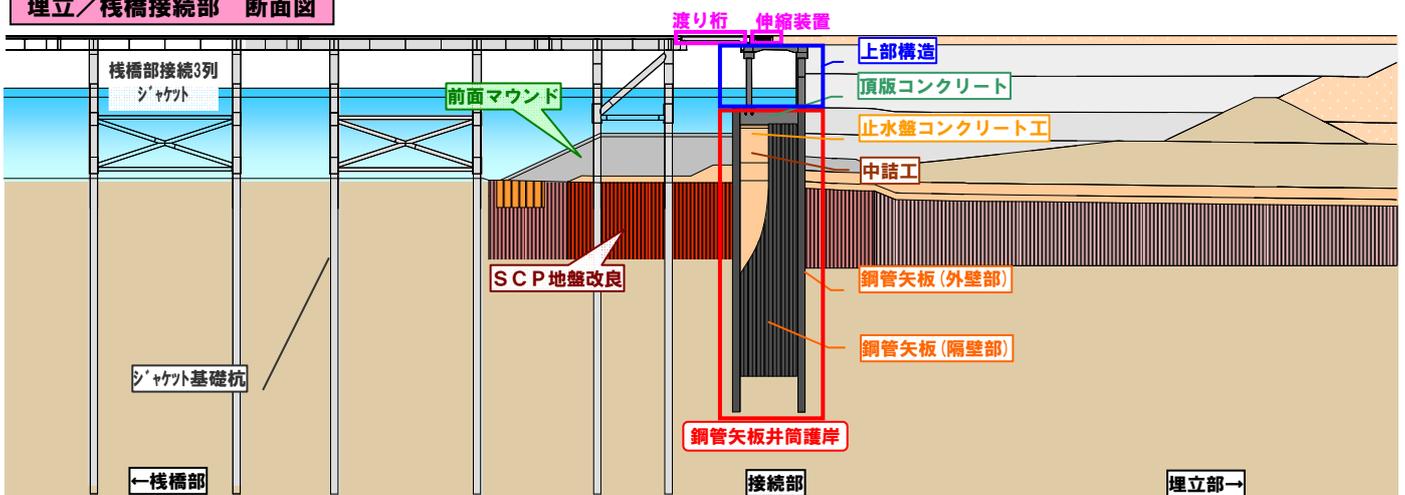


埋立/棧橋接続部 概要

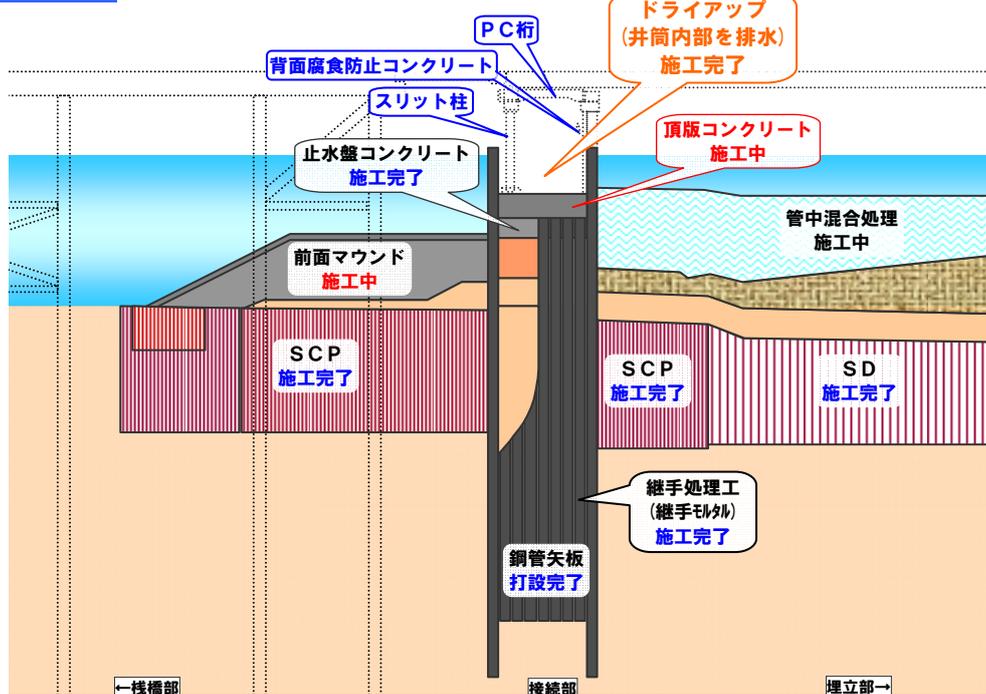
埋立/棧橋接続部 平面図



埋立/棧橋接続部 断面図



接続部 施工ステップ



- ①ドライアップ 施工完了
- ➡
- ②頂版コンクリート 施工中
- ➡
- ③上部構造構築 (スリット柱建込・PC桁架設)